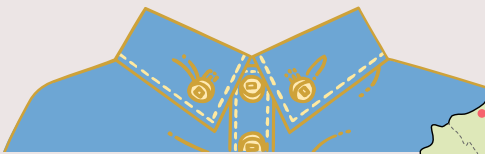


事例 19

地域環境の保全と循環型農村社会を目指して

～ 島根県における農業集落排水事業の取り組み～

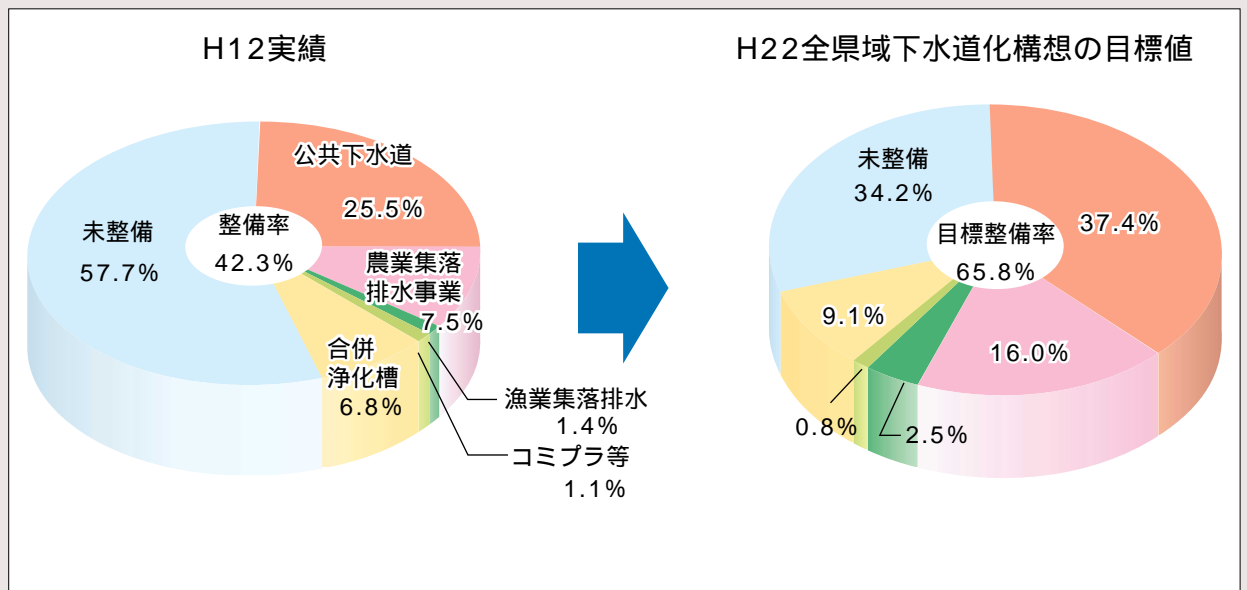


集落排水事業実施箇所(平成13年度着工まで:129地区)

下水道目標整備率とH12末下水道整備率

全国における平成12年度末の下水道整備率は71%であるのに対し、島根県の整備率は42.3%と低い数値を示しています。

今後も引き続き、公共下水道や合併処理浄化槽と調整を図りながら、下水道の整備を進めていきます。

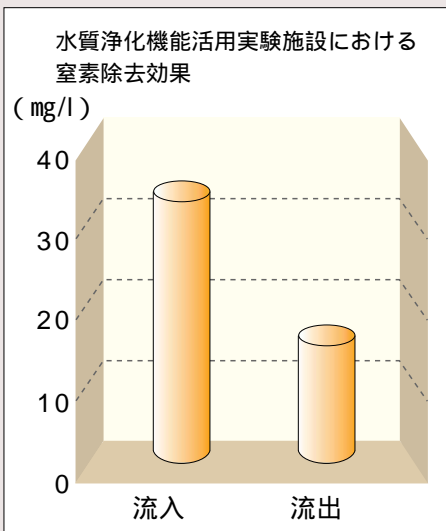


水質浄化機能活用実験施設

島根県では、植物の窒素・リン吸収作用とゼオライトのアンモニア吸着能力を組み合わせ、省エネルギー、低コスト、そして景観に配慮した資源循環型水質浄化実験施設において、湖沼の富栄養化の原因物質である窒素・リンの除去能力等の実験を平成11年より行っています。



水質浄化実験施設（島根町大芦地区）



啓発・普及活動

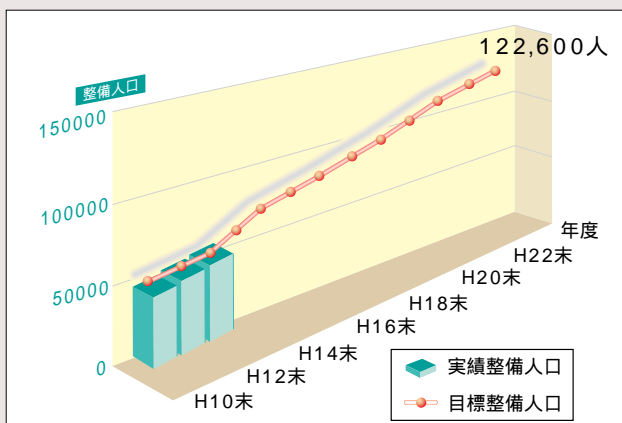
島根県では、毎年県内で農業集落排水事業の啓発・普及活動を実施しています。

その活動としては、一般の人に農業集落排水事業を簡単に理解してもらえよう集落排水事業の処理システムの模型を展示しています。また、メダカ、ザリガニ等の水生生物を展示することにより、農村においても、人が汚した水は人が綺麗にして自然に返すことの大事さを訴えかけ、そのためには農業集落排水事業が大きな役割を担っていることをPRしています。



農業集落排水展での模型展示

目標整備率とH12末実績整備率



平成22年度末の目標整備人口は122,600人です。

最終的には、農業集落排水事業による整備人口は172,600人を目指しています。